

保護者のスタンツ 「火の神の巫女の踊り」

ここで、4人の保護者の登場だ。暗いところから現れた。

全員、赤いショールのようなものを首にかけ、両手で端を持っている。頭には、ハチマキを結んでいる。天女の羽衣を意識しているようだ。
営火長の向かい側に4人が並んだ。

A：「私たちは、そこにいらっしゃる火の神の巫女よ。私は、マリよ」

B：「私は、ヨシよ」

C：「私は、クミよ」

D：「そして、私は、アヤよ。今から、巫女の踊りを始めます。では、始めるよ」

最後の巫女が先頭になって、火の回りをショールをなびかせながら、妖艶な姿で回り出した。2週してから、元の位置に戻った。

D：「どう、よかったでしょ。あ、拍手をしてよ」

(リクエストに全員が拍手をする)

D：「ありがとう。うれしいわ。じゃあ、火の神の仕事を教えてあげるわ」

A：「みんなが正しく火を使えることをいつも祈っているわ。F i r e、F i r e、ファイヤー——」

B：「山火事が起きそうになったら、その火を消しているわ。火遊びはだめよ！」

C：「火が最後まで消えるのを祈っているわ。F i r e、F i r e、ファイヤー——」

D：「じゃあ、巫女の祈りをお見せするわ」

最後の巫女が先頭になって、火の回りをショールをなびかせながら、お祈りのポーズで回った。1週してから、元の位置に戻った。

D：「どう、よかったでしょ。あ、拍手をしてよ」

(リクエストに全員が拍手をする)

D：「ありがとう。うれしいわ。じゃあ、火の神が大事にしているものをこっそり教えてあげるわ」

A：「火の神は、友達がたくさんいるわ。それはそれはたくさんいるわ。友達を大切にしているからよ。G o o d F r i e n d !」

B：G o o d F r i e n dは、なかよしという意味だったよね。

C：川の神、森の神、山の神、木の神。いっぱいいるのよ。

D：じゃあ、巫女がみんなのために歌うわ

(ご飯の歌の替え歌)

わっぱるいいとこ　くらいよる
まきをもやして　こころももやせ
火の神いっしょに　おどりましょ
たのしいファイヤー　もりあげよー

D : 「どう、よかったでしょ。あ、拍手をしてよ」

(リクエストに全員が拍手をする)

A : 「ありがとう。うれしいわ」

B : 「これでおしまい」

C : 「今日は楽しかったわ」

D : 「じゃあね」

全員 : 「バイバイ、　see you again! 」